

# レジリエンス共同研究センター・シンポジウム @Law Enforcement University, Ulaanbaatar(2017.5.4)

2017年5月4日、Law Enforcement Universityにおいて、シンポジウム「モンゴルにおけるレジリエンス研究の方向性」を実施しました。モンゴルからはホブド大学のアルタンバガナ氏がモンゴルの生態学的脆弱性とレジリエンスについて、非常事態庁のアリョーナ氏がゾドとレジリエンスについて、災害研究所のセルジミヤダグ氏が地震とレジリエンスについて発表しました。日本からは中部大学教授でありローマクラブのフル・メンバーである林良嗣氏がローマクラブとレジリエンスについて、早稲田大学の相馬拓也氏は遊牧民の環境共生とレジリエンスについて、名古屋大学の内山琴絵氏は災害に対する社会的脆弱性について阪神淡路大震災における神戸市を事例にそれぞれ発表しました。討論会では、発表者の他、モンゴル非常事態庁、モンゴル国立大学、Law Enforcement University、名古屋大学、放送大学などの研究者等が、モンゴルにおける近年のレジリエンスの変化に関して活発な議論を行いました。(シンポジウム内容をご覧になりたい方はこちら)

